


■ タスクスケジューラー



決まった時間にホスティングアカウントでスクリプトを実行する必要がある場合は、Plesk のタスクスケジューラを使用して、スクリプトを自動実行することができます。

1. 「ウェブサイトとドメイン」の画面より「スケジュール済みタスク」をクリックします。



2. タスクを新規作成する場合は、「タスクを追加」をクリックします。

一覧内のすべてのタスクに対して、タスク名をクリックしてタスクの設定を変更したり、以下のアイコンをクリックすることでタスクをアクティブ化、非アクティブ化したり、「 今すぐ実行」で即時実行ができます。

	アクティブなタスク（アイコンクリックで非アクティブ化します）
	非アクティブなタスク（アイコンクリックでアクティブ化します）



3. タスクを設定します。

ウェブサイトとドメイン > スケジュール済みタスク >

タスクのスケジュール

アクティブ

タスクタイプ ①

- コマンドを実行
- URL をフェッチ
- PHP スクリプトを実行

コマンド*

実行 ②

毎日 at :

タスク実行時間のタイムゾーンは (UTC +09:00) Asia / Tokyo です

説明 ③ 任意で入力

通知

- 通知しない
- エラーのみ
通知にはコマンドの標準エラー streams が含まれます。streams が空の場合、通知は送信されません。
- 毎回
通知にはコマンド出力が含まれます。出力が空の場合、通知は送信されません。

* 必須フィールド

④ ⑤

タスクタイプ ①

コマンドを実行	実行したい実行可能ファイルのフルパスを指定します。 これには、バイナリファイル、シェルスクリプト、およびバッチファイルが含まれます。
URL をフェッチ	URL のみを指定します。curl や wget など、コマンドを入力する必要はありません。
PHP スクリプトを実行	仮想ホストディレクトリを基準に、スクリプトの相対パスを指定します。 browse アイコンをクリックして、スクリプトファイルを簡単に探すことができます。

実行 ②

タスクを実行する頻度を選択し、必要に応じて時間や日付を設定します。デフォルトで、時刻はサーバのタイムゾーンになっています。別のタイムゾーンを選択する必要がある場合、[ウェブサイトとドメイン] タブ > [スケジュール済みタスク] > [設定] に進んでください。タスクに説明を設定したり、通知を構成することもできます。

今すぐ実行 ④

タスクを保存する前に、タスクが正しく構成されているかテスト実行で確認するオプションです。[今すぐ実行] をクリックして、タスクが終了するまで待ちます。タスクがエラー終了した場合、その問題を特定して解決しなければ、スケジュールで実行しても失敗すると考えられます。

「今すぐ実行」ボタンにて確認後、「OK」をクリックします。